

2023年  
みやぎ憲法行事  
参加企画

学習講演会『新しい戦前』を象徴する…

# 学問・研究、科学・技術の

# 軍事化への道!?

タモリさんが、岸田政権の急激な動きを指して、「新しい戦前に思える」と発言し話題になっている。1930年代初頭、民主的と言われるワイマール憲法を持つドイツでヒットラーが政権を取ると、真っ先に「ナチスに反する書物は全て焼き尽くせ」と指令、学生たちに何億冊もの書籍を街中に山積させて燃やす「焚書運動」を行い、侵略戦争に突入した。日本の軍国主義指導部は「天皇の神」に反する考えを持つ、共産主義者をはじめ学者・弁護士・文化人・宗教者などを、「治安維持法」を口実に逮捕/弾圧/虐殺して壊滅し、多くの国民を地獄に陥れる「アジア・太平洋戦争」に突入した。学問研究の自由、大学の自治の破壊は、戦争前夜の足音である…。

## 特別講演

### 日本の研究者と民間企業を 軍事研究に大動員する ——経済安全保障政策——

お話し 井原 <sup>さとし</sup> 聰 さん

東北大学名誉教授（科学史・技術史）



#### 【講演要旨】

ある日突然、大学の一研究者に内閣府から、「貴殿の研究が特定重要技術に認定されました。研究開発協議会という制度がありますので、この制度を使いませんか。」「この協議会は貴殿の研究推進のための組織となります。研究資金も豊富に支援できますし、官民伴走して研究を支援します。」と声をかけられたら研究者はどう反応するのでしょうか？その研究がやがて兵器開発として社会実装されるとしたら…。また、最新技術研究で優れた研究者を防衛省の次世代装備研究所などにリクルートする動きもあります。

さらに、経済安保法に基づく安全保障特別重要技術育成プログラムの実態を明らかにし、大軍拡の要となる軍事技術開発研究に、研究者を大動員する危険性を明らかにしたいと思います。  
[2023年2月 井原・記]

## 現況報告

### ＝大学ファンドと国際卓越研究大学＝で、 どうなる・どうする、大学の未来

東北大学教授（東北大職員組合委員長）片山 <sup>さとし</sup> 知史 さん

2023

5/13

SAT

土

資料代 500円  
学生・青年は無料

13:30 ~ 16:00 (開場 13:00)

東京エレクトロンホールみやぎ 601・602会議室  
(宮城県民会館)

主催 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟・宮城県本部

お問合せ先: 仙台市青葉区五橋1-5-13 TEL 022-222-6458 FAX 022-222-6450

日本科学者会議・宮城支部 お問合せ先: E-mail jimukyoku@miyagi-ja.sakura.ne.jp (小山富男)

協賛: 県教職員組合、県高等学校・障害児学校教職員組合、県平和委員会、国民救援会、新日本婦人の会、東北大職員組合、東北大職組退職者の会、日朝協会宮城支部、日本民主青年同盟宮城県委員会、年金者組合、宮城県革新懇、宮城憲法会議、宮城県労連、婦人民主クラブ県協議会 (五十音順)